



2017年4月期 第2四半期

決算説明会

2016年12月16日

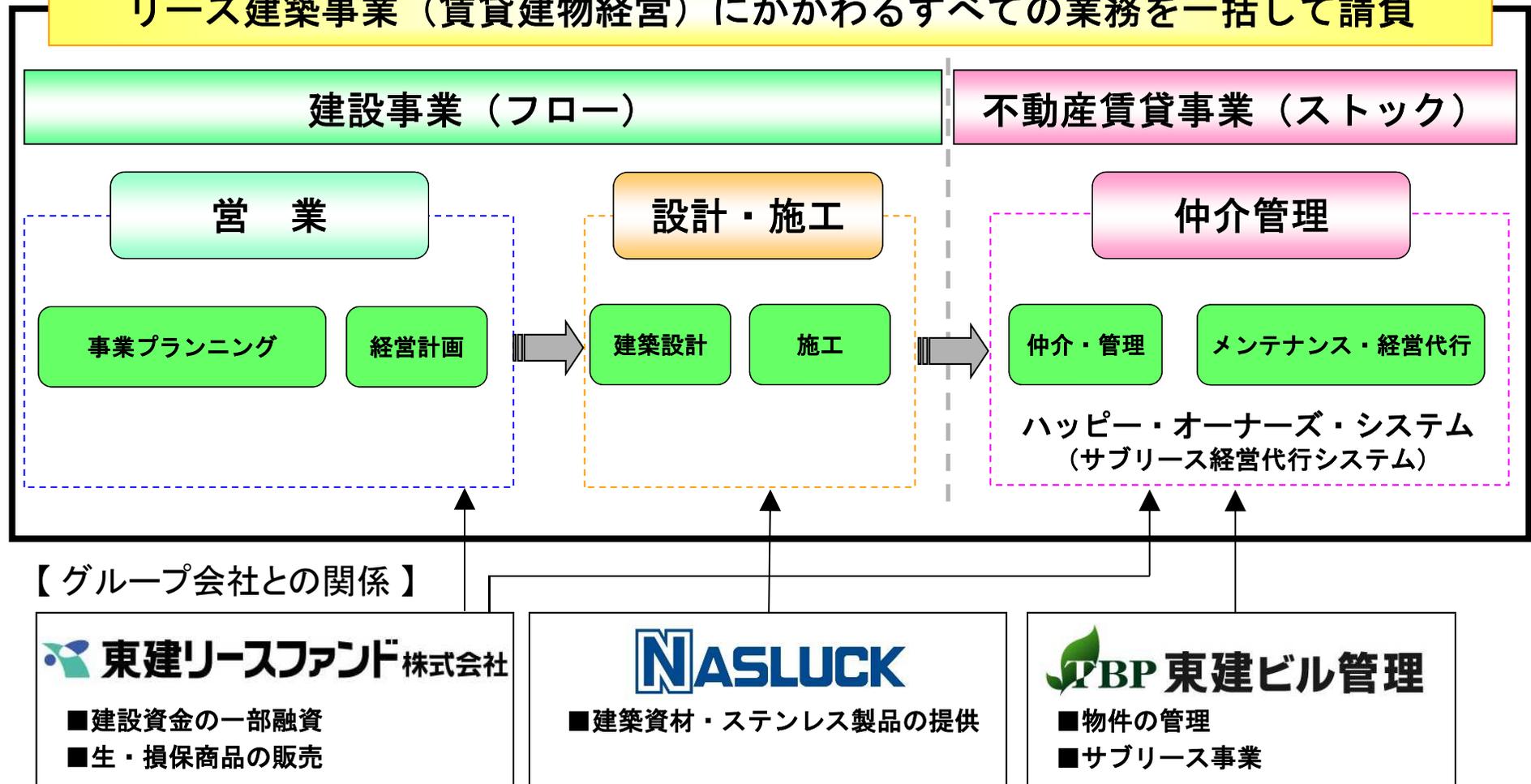
 **東建コーポレーション株式会社**

1. 当社ビジネスモデル

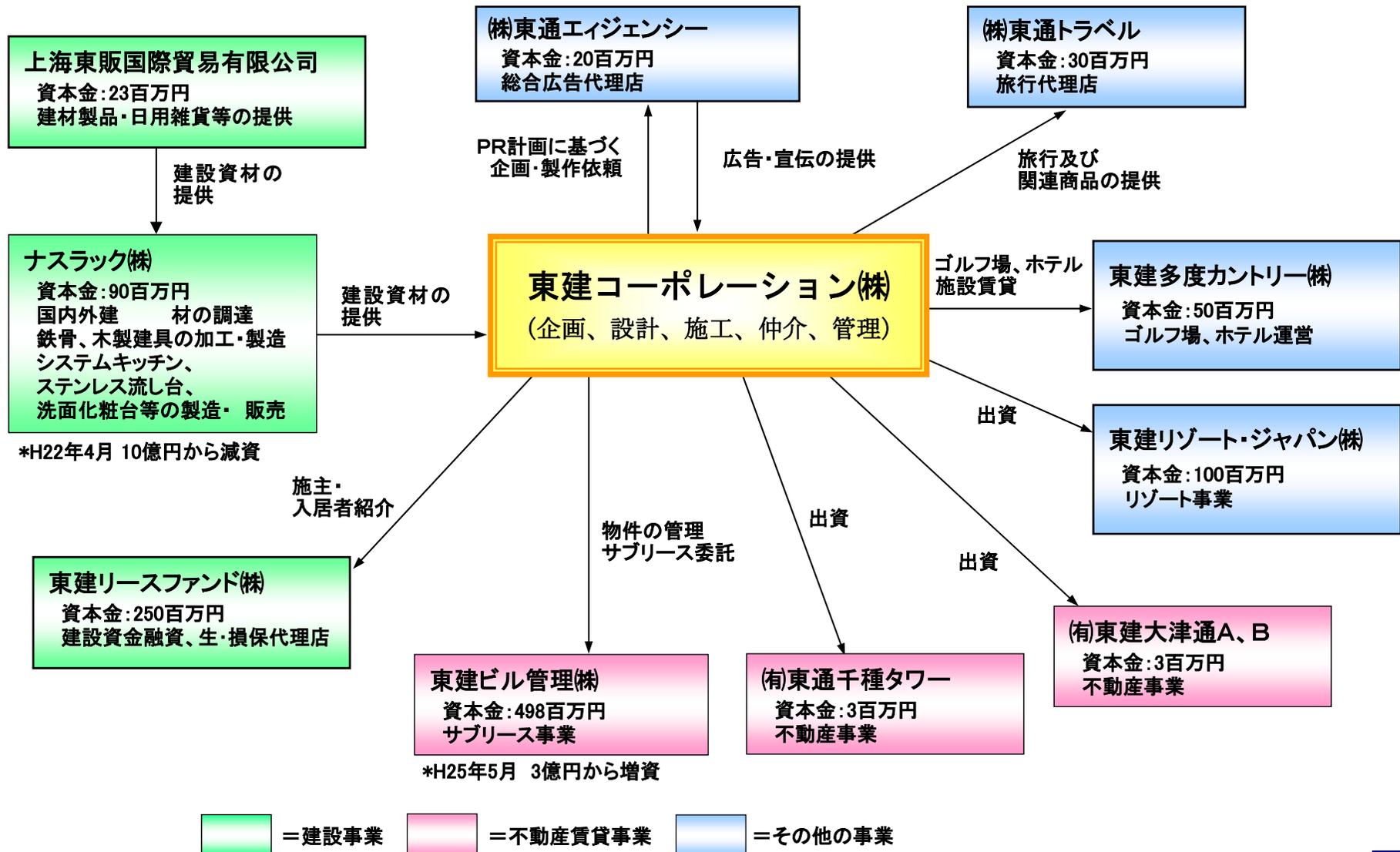
TOKEN CORPORATION

リース建築事業（賃貸建物経営）におけるトータルサポートシステムが、顧客（特に施主様）を満足させ、会社の安定成長に寄与します。

リース建築事業（賃貸建物経営）にかかわるすべての業務を一括して請負



2. 連結グループ会社の概況



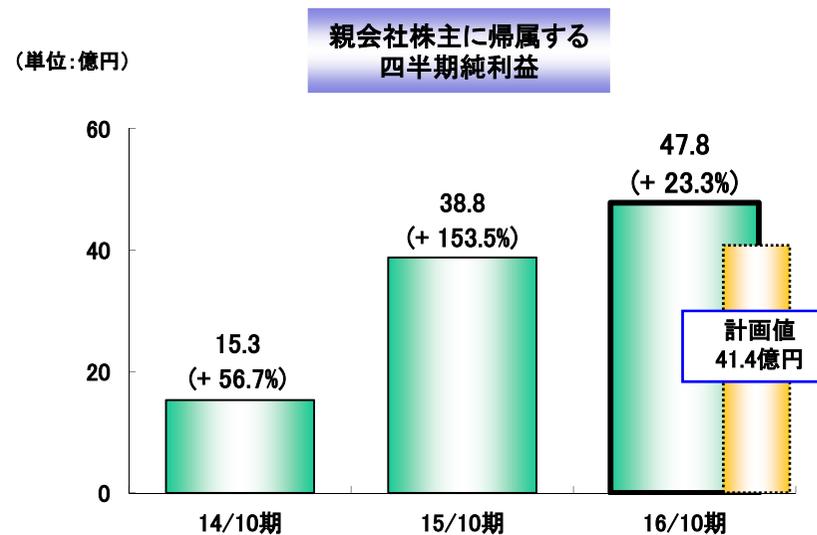
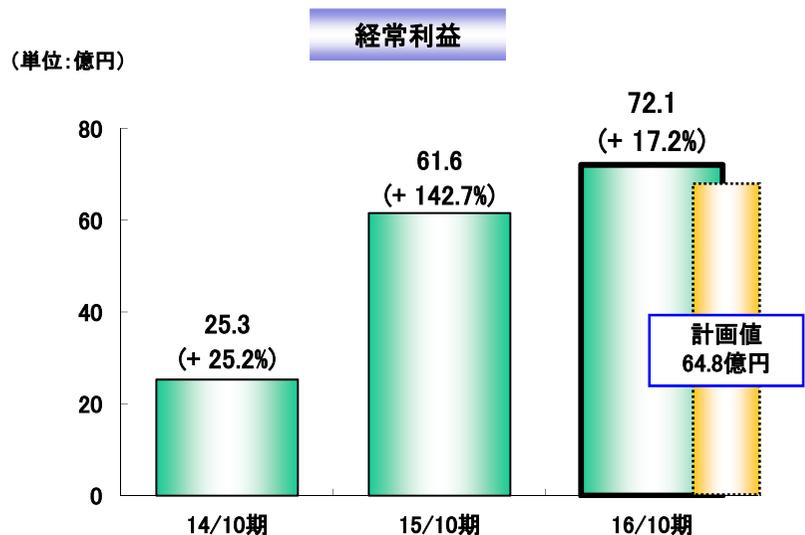
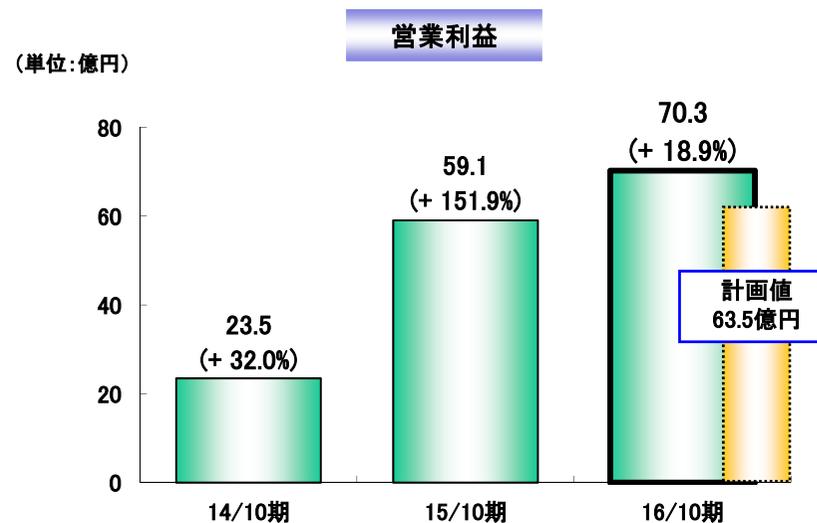
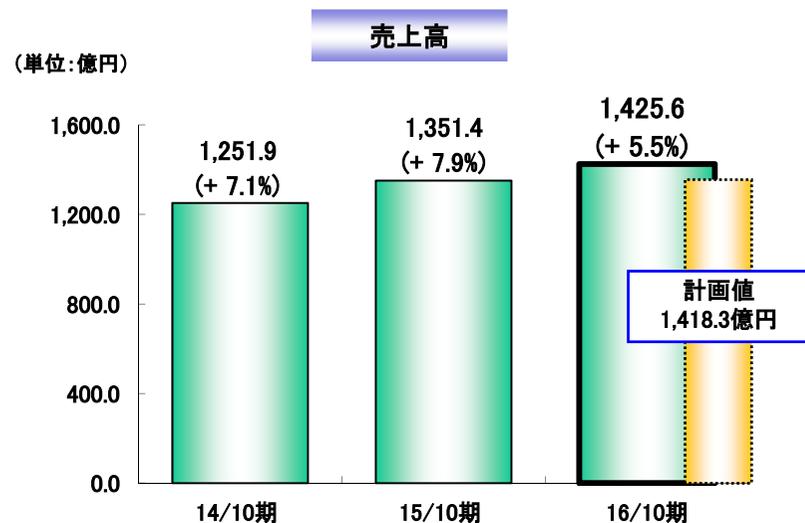


I . 第2四半期累計 決算説明

1. 連結損益計算書

(決算資料P1-7)

6期連続の増収 3期連続の増益



2. 連結売上高 ～完成工事～

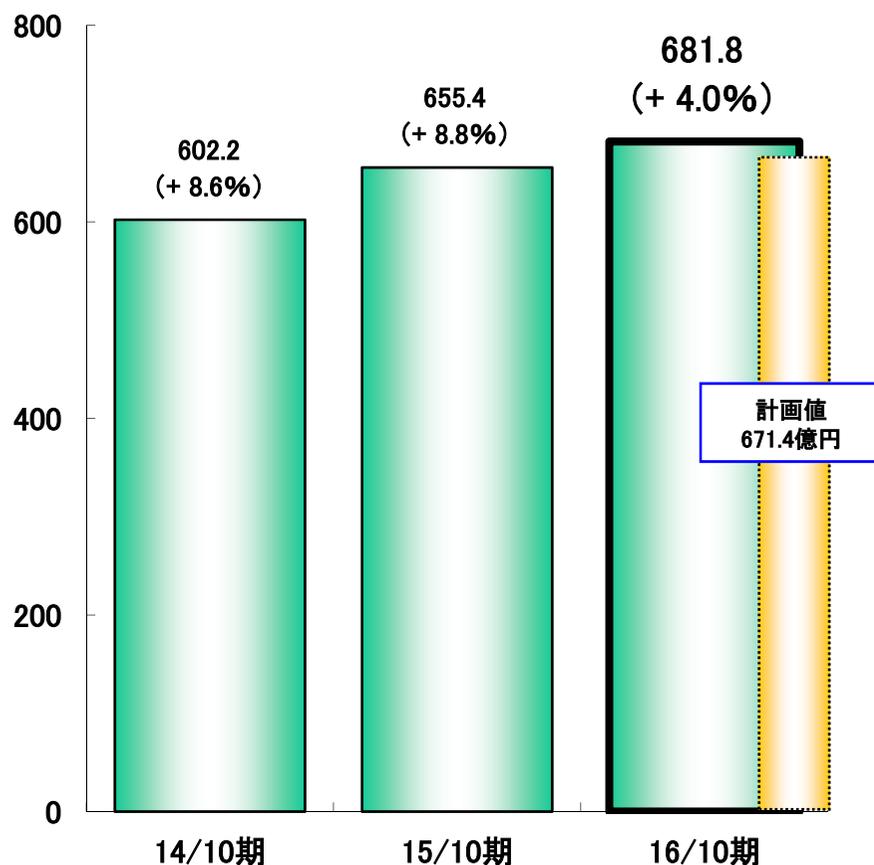
TOKEN CORPORATION

(決算資料P1-4)

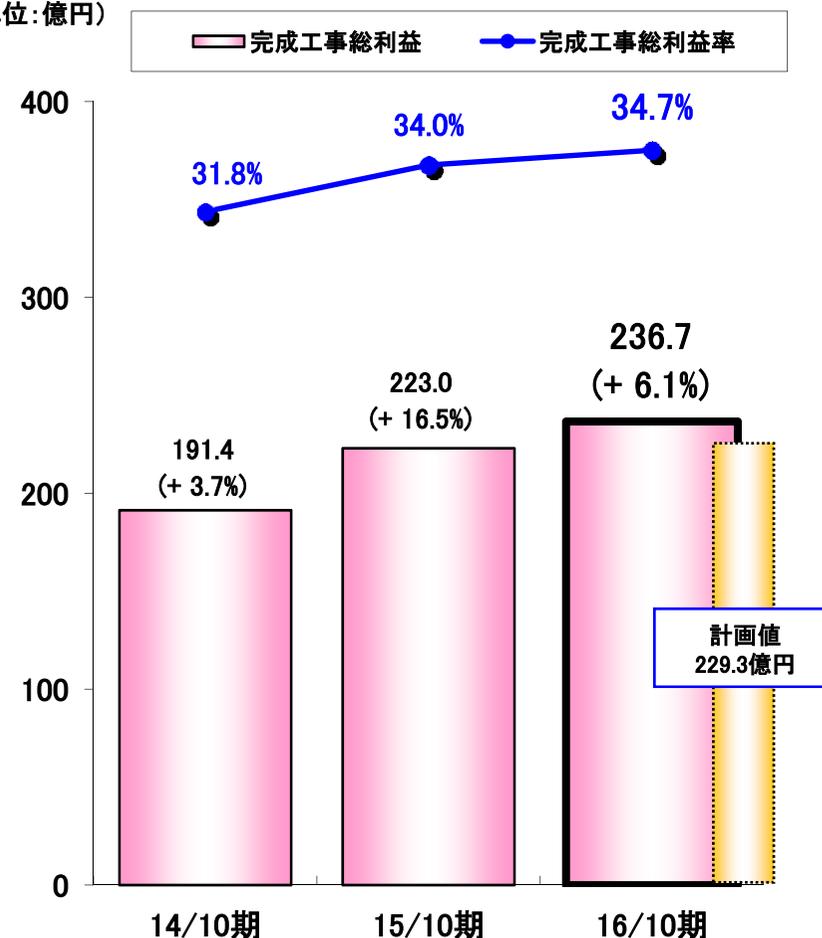
完成工事高

完成工事総利益

(単位:億円)



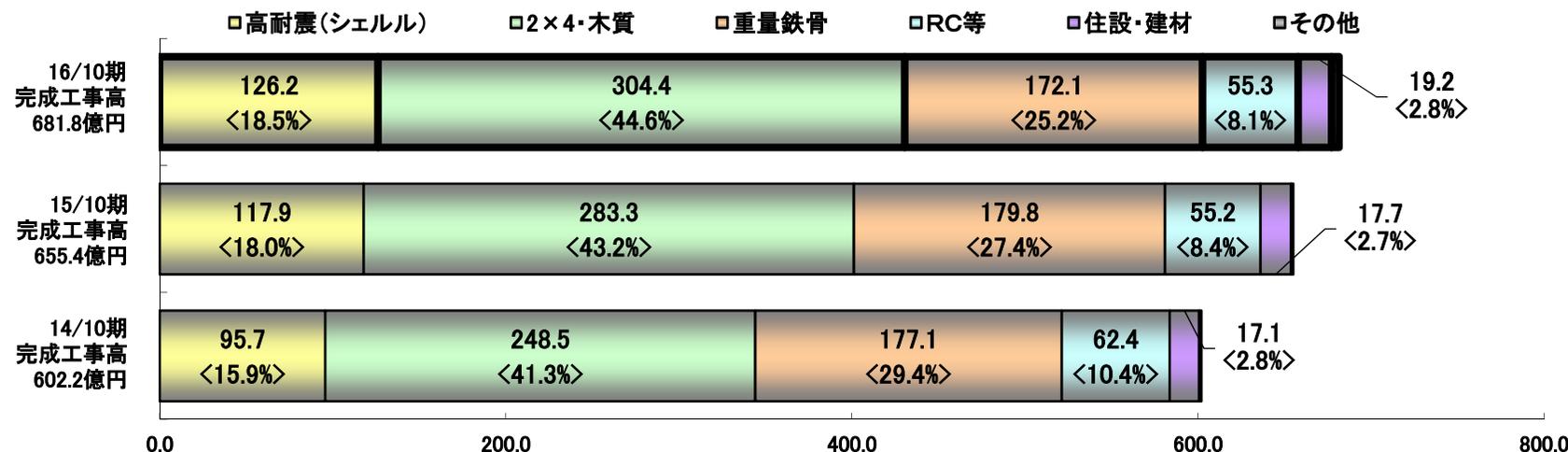
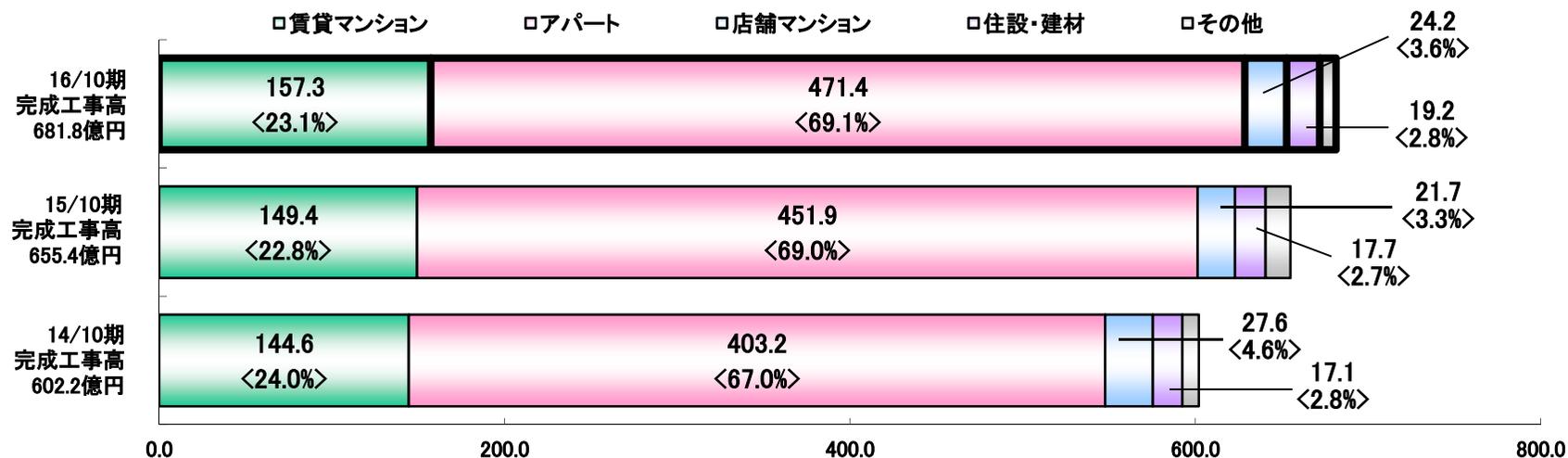
(単位:億円)



○完成工事高：受注残物件の増加と着工率の向上により前年同期及び計画値を上回る結果となった。

○完成工事総利益：物件種別の比率変動により利益率は前年を上回った。また、コストダウン施策の奏功により利益率は計画値も上回る。

3. 完成工事高 ～売上内訳～



(単位: 億円)

○主力商品であるアパートの増加などにより木質系やシェルルが増加。

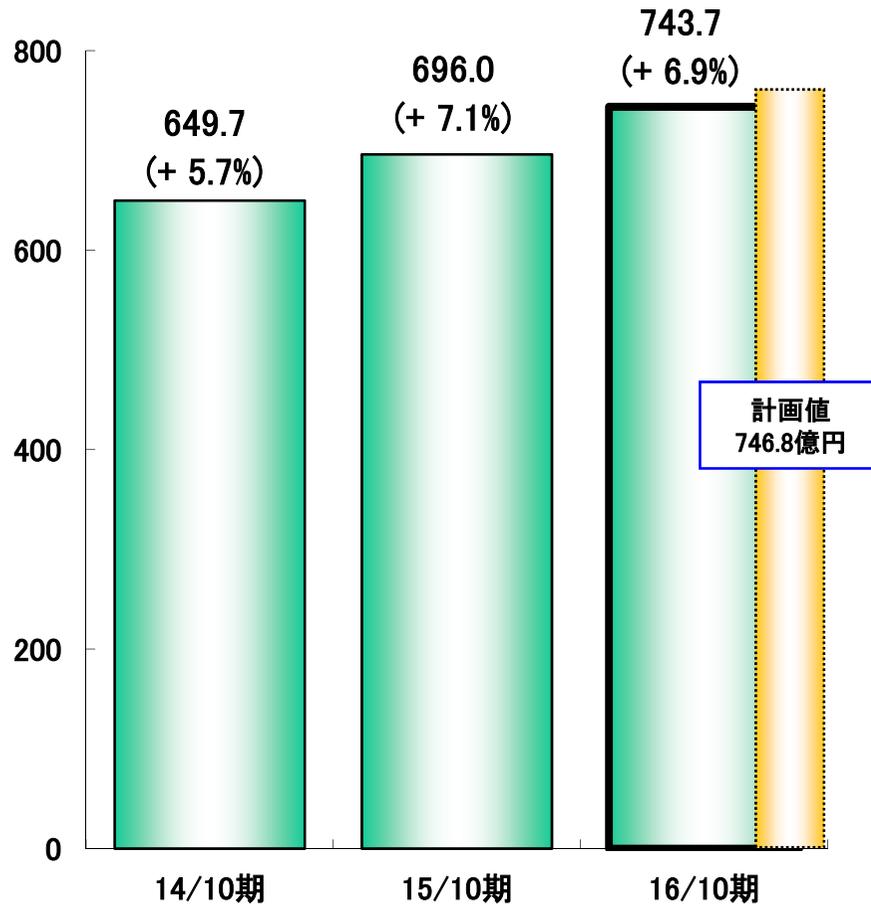
* < >内の数値は構成比を表しております。

4. 連結売上高 ～兼業事業～

(決算資料P1-4)

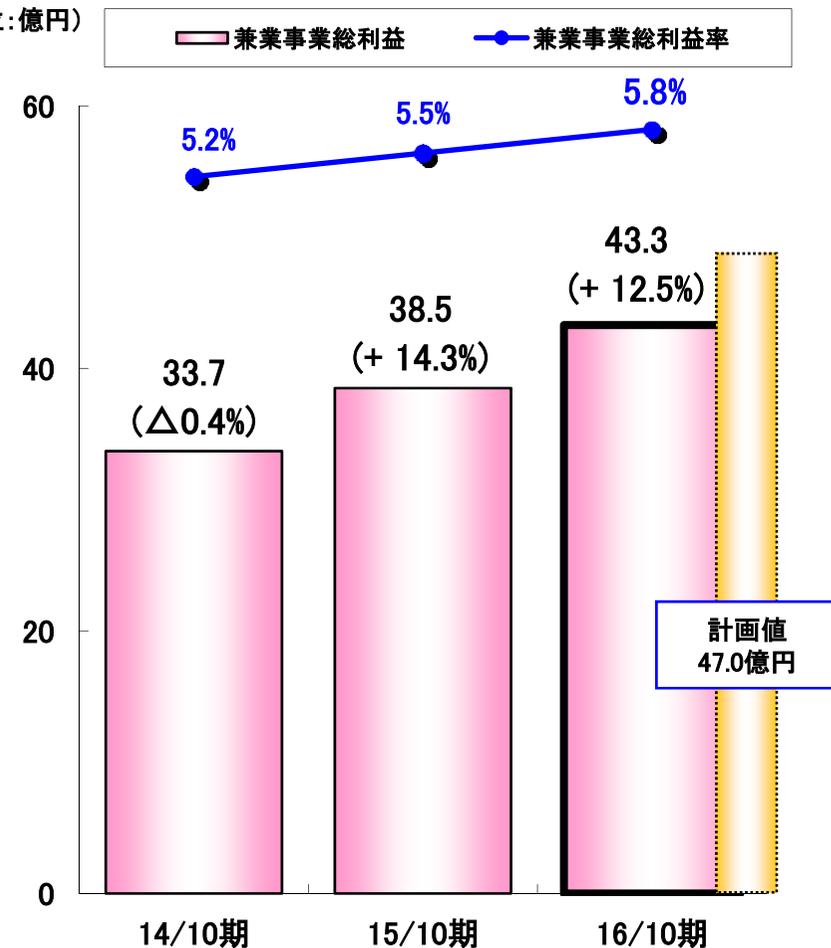
兼業事業売上高

(単位:億円)



兼業事業総利益

(単位:億円)

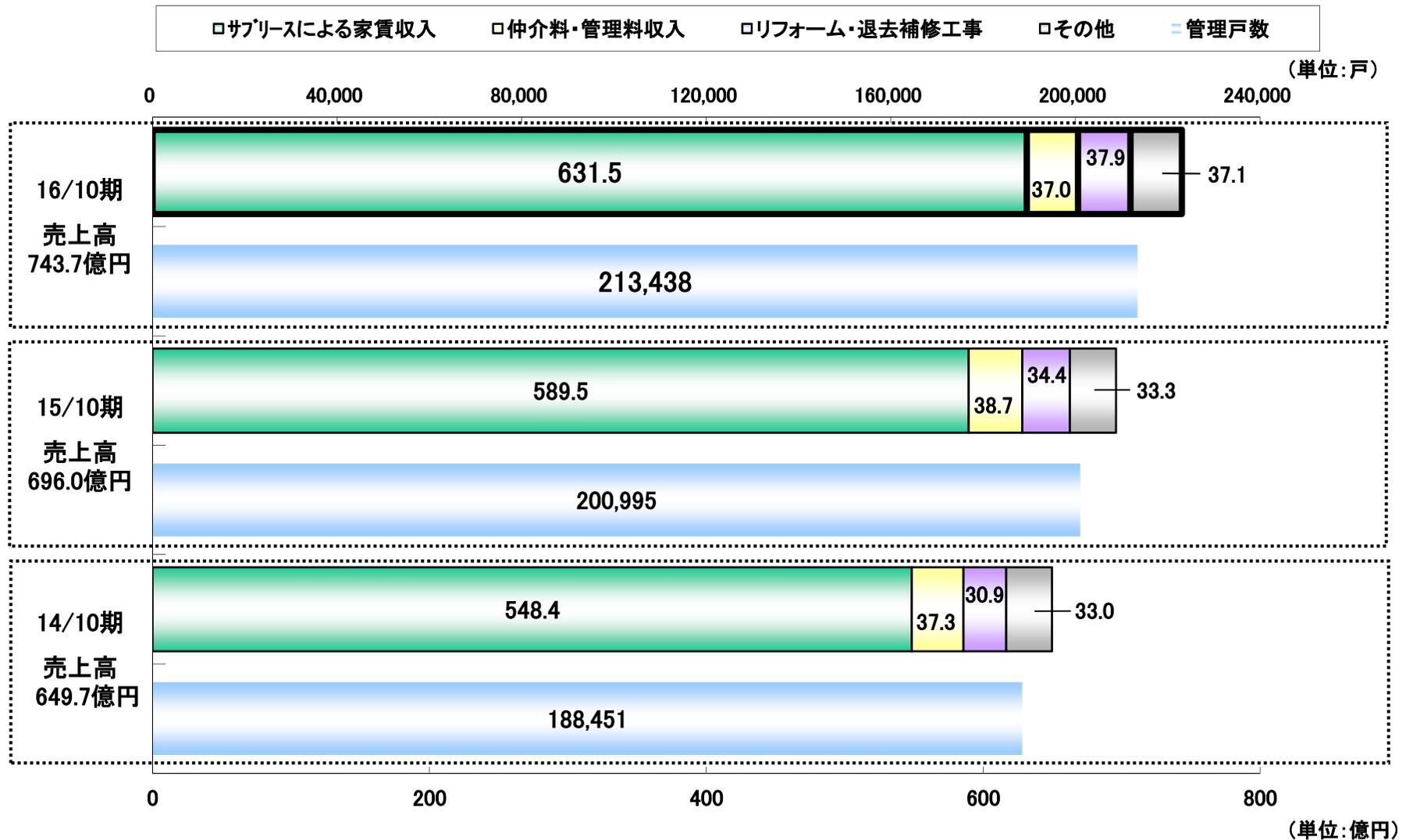


○兼業事業売上高 : 不動産事業の受取家賃収入の増加に伴い売上高も前年同期を上回る。

○兼業事業総利益 : 入居率の上昇により利益率が改善。

対計画値では予想入居率が僅かに下回りサブリース収支は計画値を下回る。

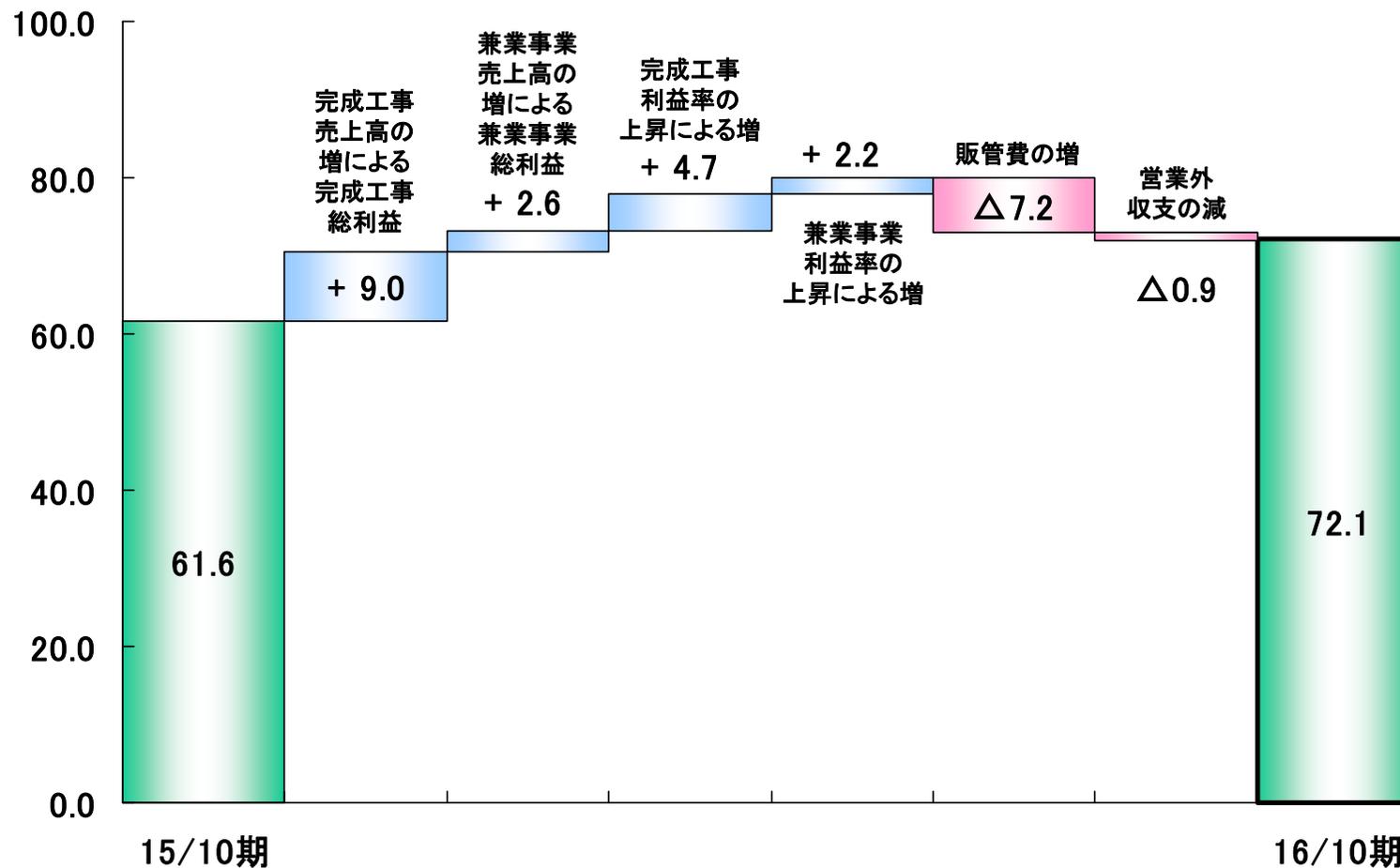
5. 兼業事業売上高 ～売上内訳～



○管理物件数の増加に伴い家賃収入が増加。

6. 経常利益増減要因

(単位:億円)



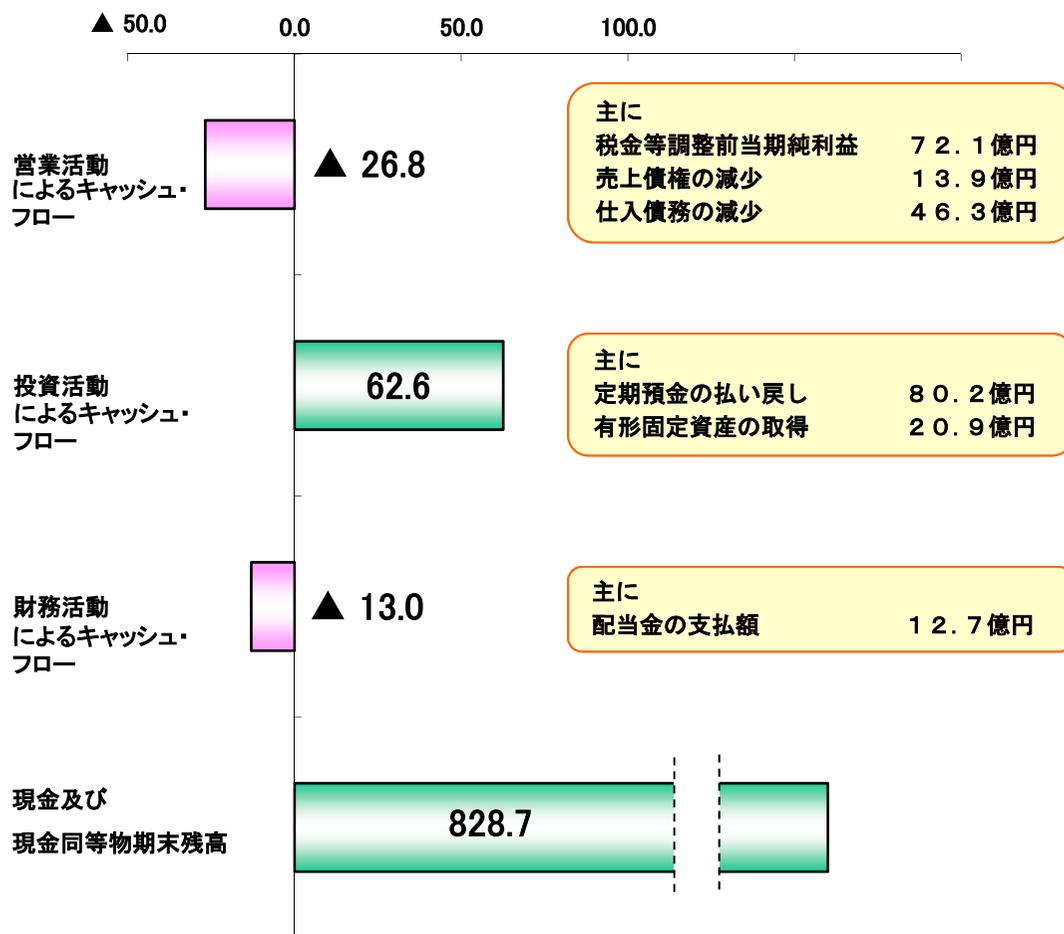
○建設事業、兼業事業ともに売上高及び利益率が前年増となり経常利益は増益。

7. CF・設備投資

(決算資料P5)

連結キャッシュ・フロー

(単位:億円)



設備投資

(単位:百万円)

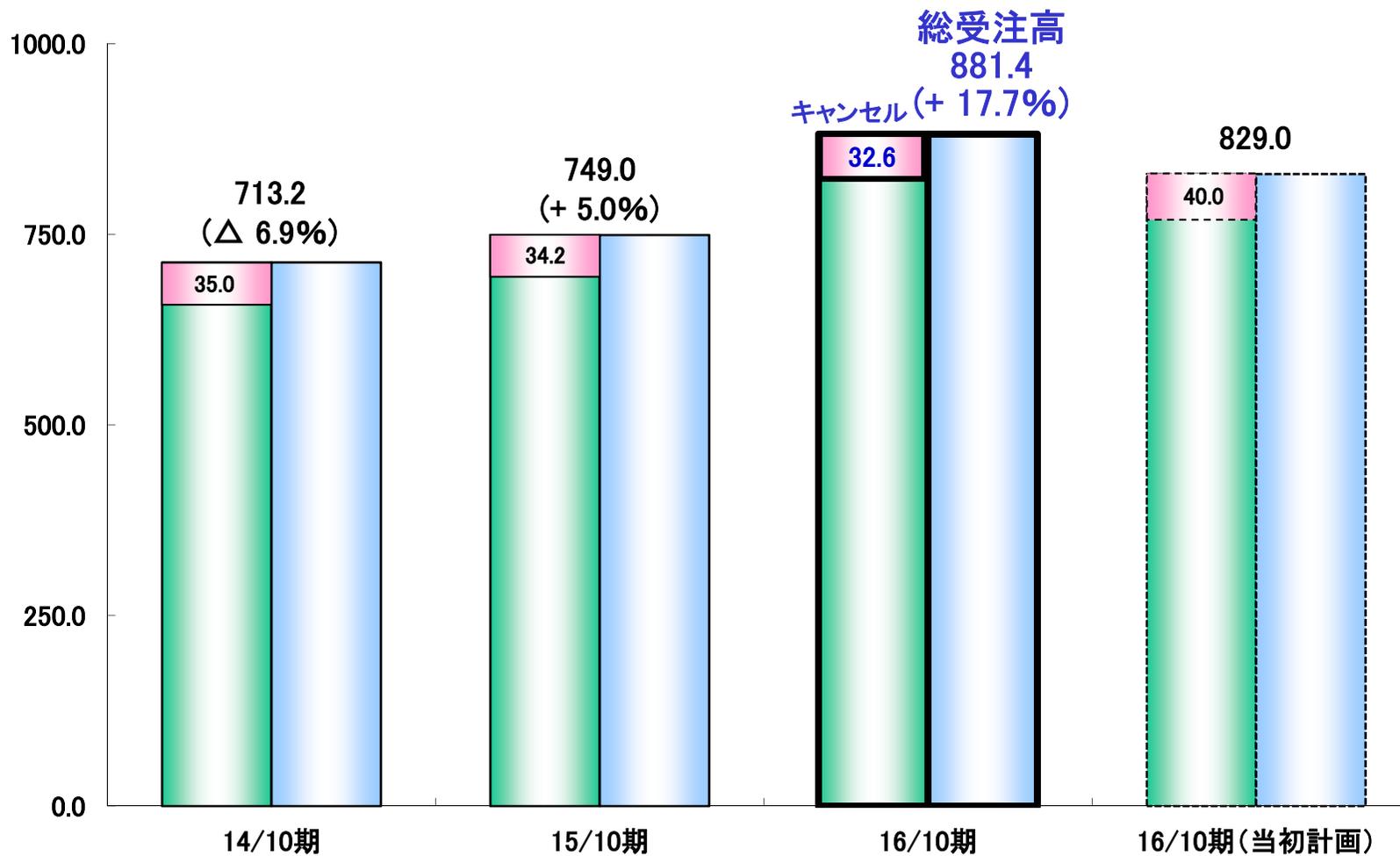
	15/10期	16/10期
設備投資額	1,654	2,330
減価償却額	684	714

- 15/10期: リゾート宿泊施設 14.1億円
- 16/10期: 名古屋市中区
高層マンション建設 14.4億円

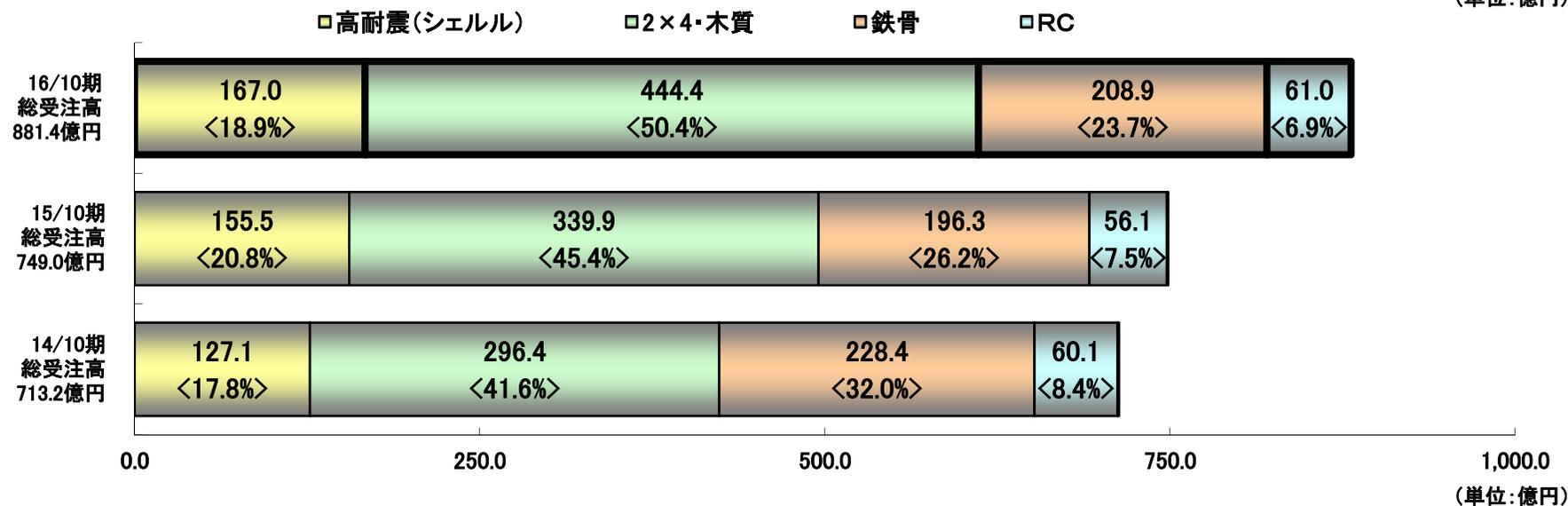
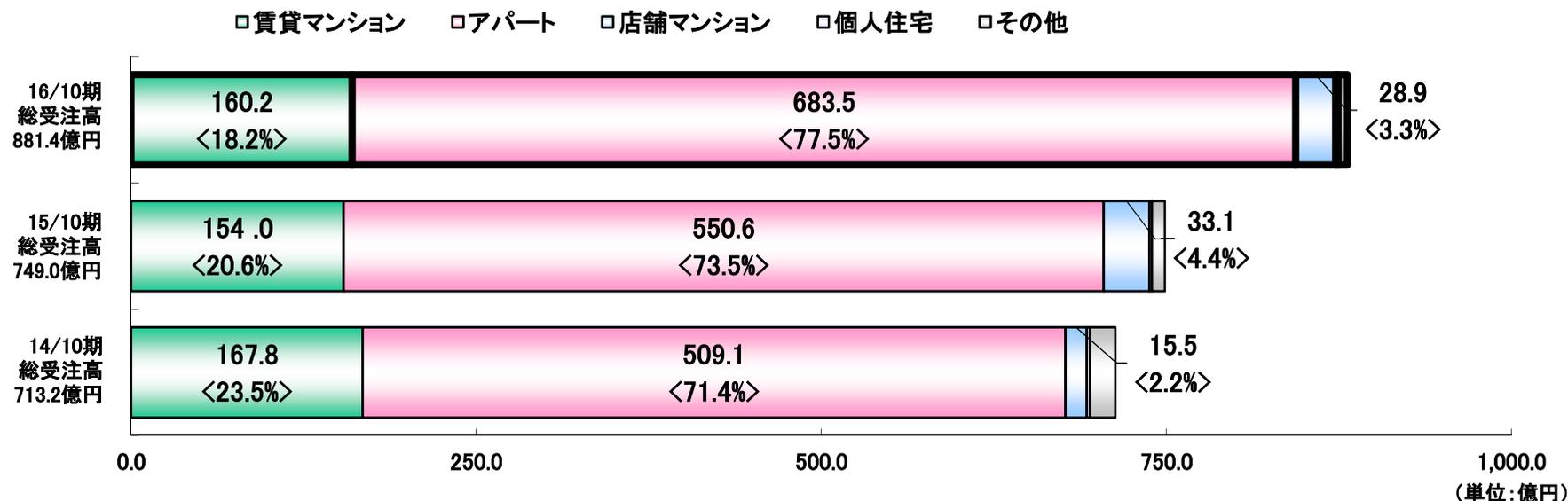
8. 受注高 (単体)

(決算資料P9・13)

(単位:億円)



9. 種類別 受注高 (第2Q累計: 単体)

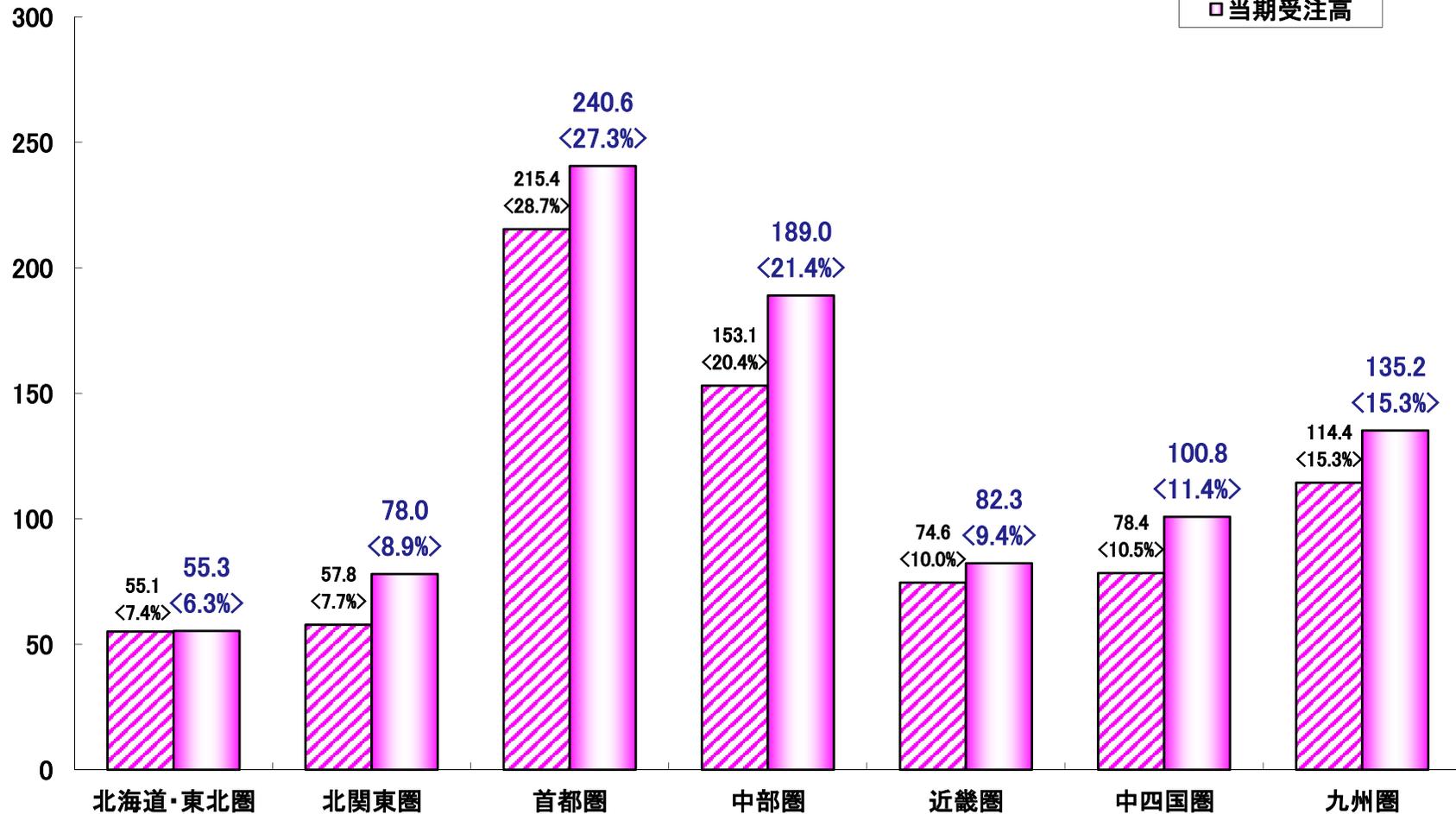


* < > 内の数値は構成比を表しております。

10. 地域別受注高（第2Q累計：単体）

（決算資料 P13）

（単位：億円）

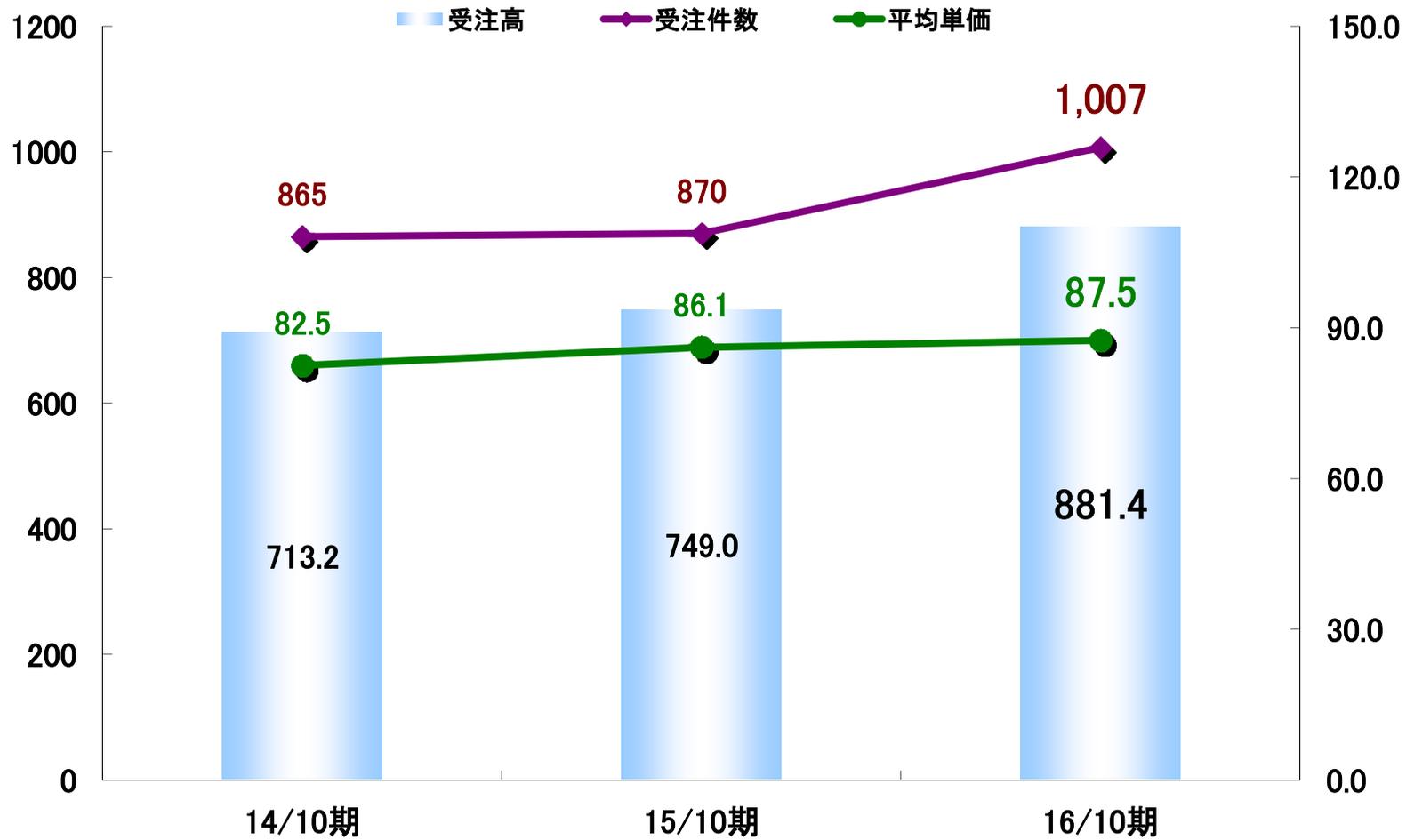


*上記は総受注高を表しております。
*〈 〉内は構成比を表しております。

11. 受注単価の推移（単体）

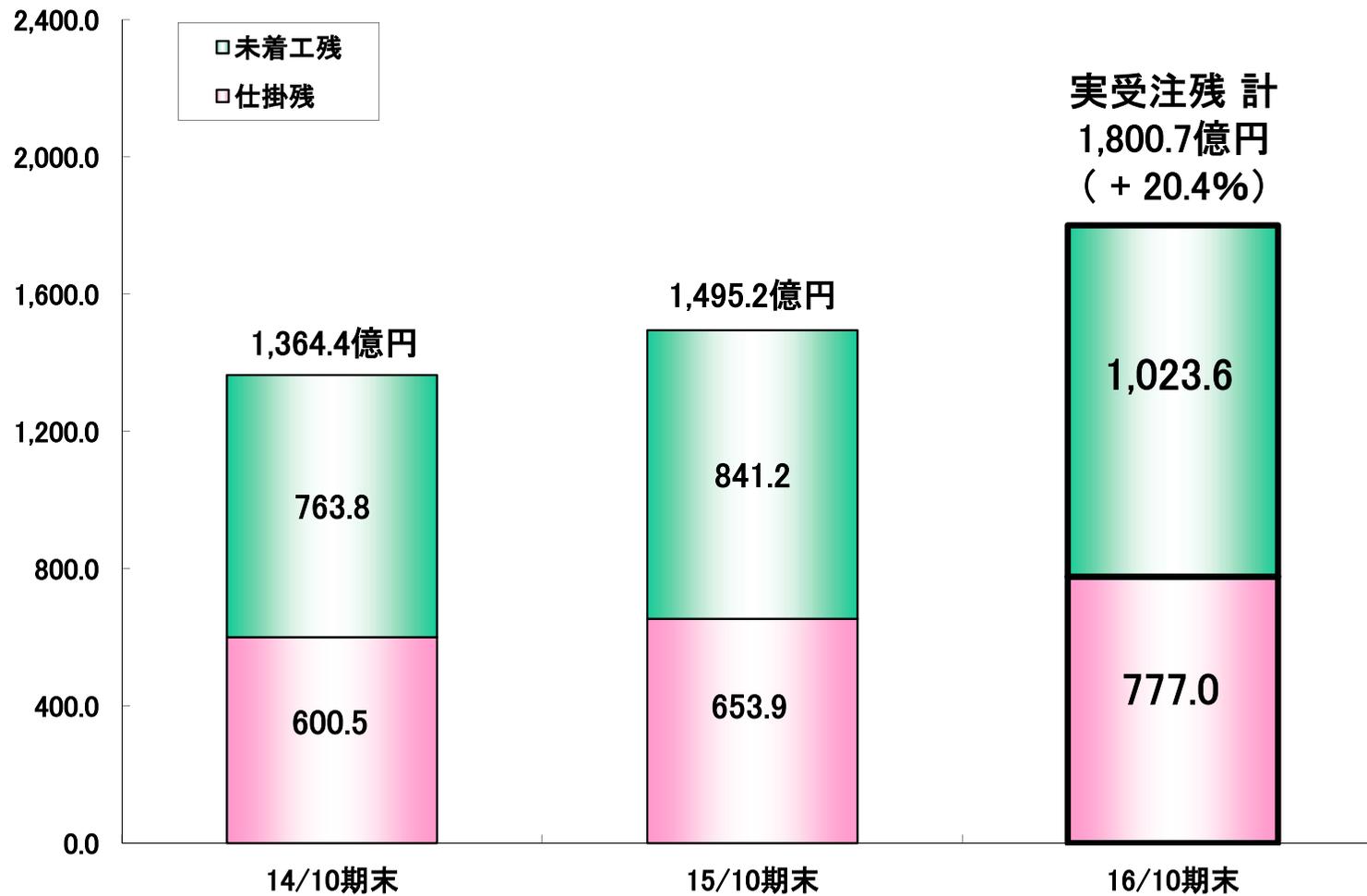
(受注高: 億円)

(平均単価: 百万円)



12. 受注残の状況（単体）

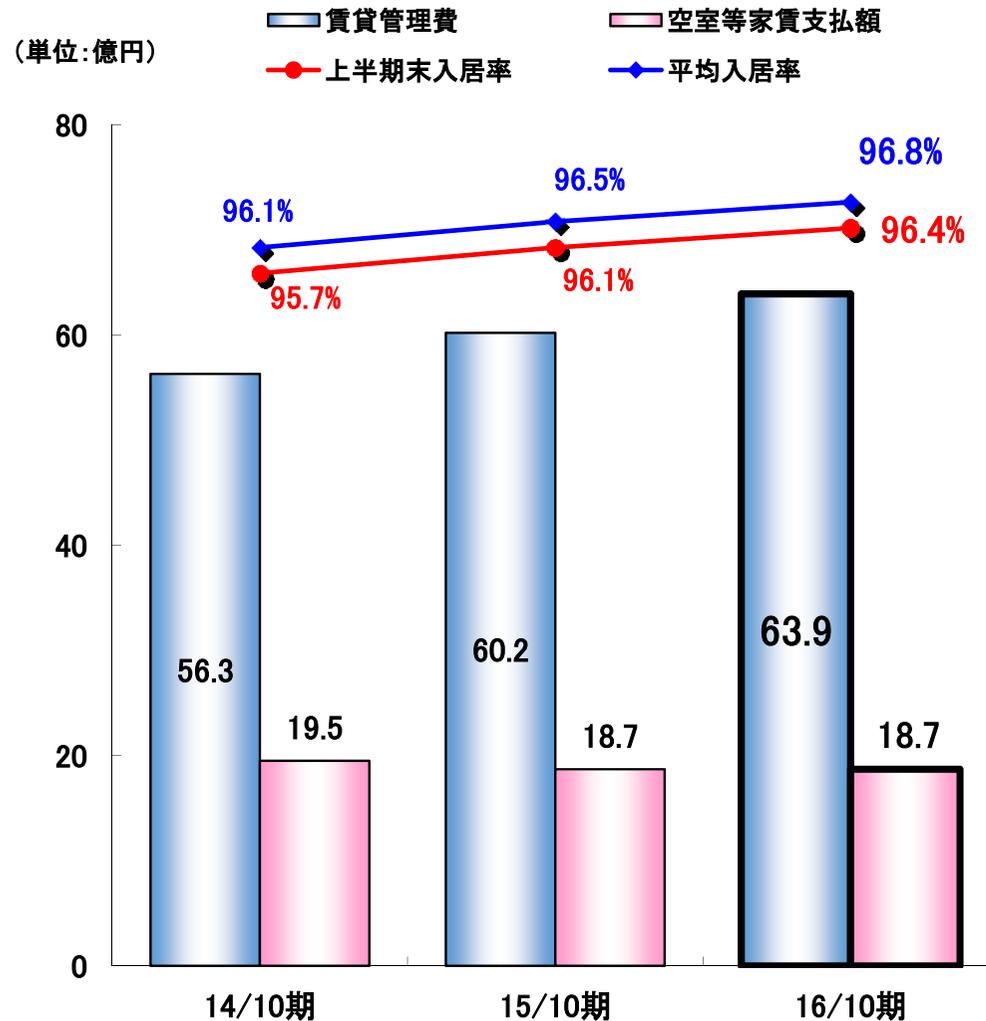
（単位：億円）



*上記数値は実工事残高を表しております。
*()内は前年同期比を表しております。

13. サブリースの状況

(決算資料 P15)



(単位: 億円)

	14/10期	15/10期	16/10期
賃貸管理費	56.3	60.2	63.9
空室等支払家賃額	19.5	18.7	18.7
収益率	65.3%	68.8%	70.7%

* 賃貸管理費とは、サブリース物件による入居者様からの受取家賃から賃貸管理業務として頂く管理費

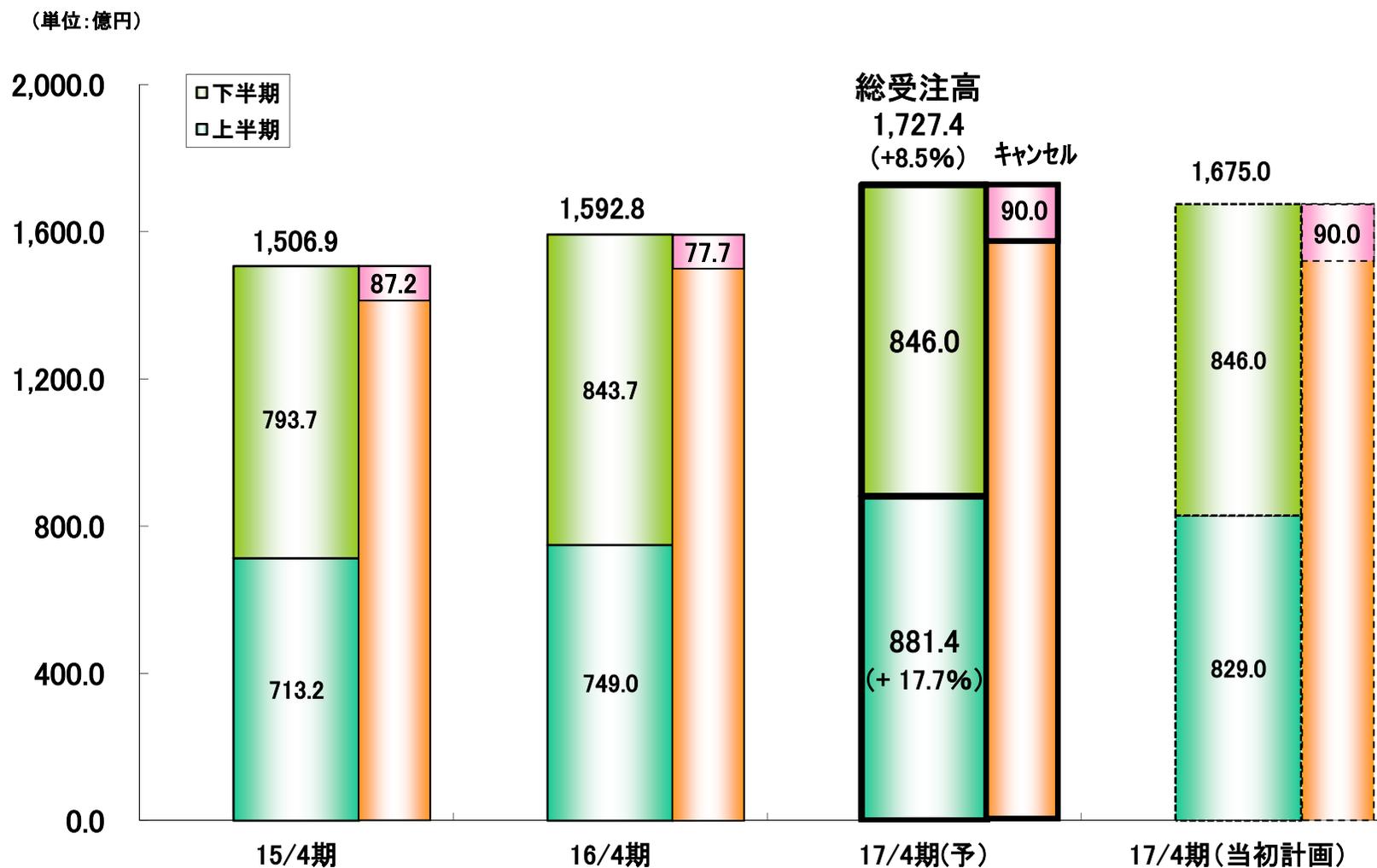
- 管理物件の増加により賃貸管理費が増加。
- 入居率の上昇によりサブリース収支は改善。



Ⅱ. 通期見通し

1. 受注高見通し (単体)

(決算資料P9・16)



2. 17年4月期 ～連結損益計算書～

TOKEN CORPORATION

(決算資料P1-7)

期初の計画に変更はありません。

